



育てよう 町の宝

宝達志水町

議会だより

第79号

令和7年(2025年)

2月1日発行

石川県宝達志水町議会



このカルタでいいのかな？

相見保育所では、1月のはじめ、お正月あそびのカルタをしました。子どもたちは、先生が読む文章の頭文字や内容にあった絵はどれかと、集中して探していました。

- 令和6年第4回定例会・・・・・・・・・・2
- 令和6年第3回臨時会・・・・・・・・・・3
- 「町政を問う」一般質問(7名)・・・・4
- 常任委員会等審議・・・・・・・・・・12~13
- 常任委員会合同視察報告・・・・・・・・14

年頭のごあいさつ



宝達志水町議会議長

林 稔

町民の皆様には、新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

日頃から町議会に対しまして、ご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の能登半島地震において、仮設トイレの設置、仮設住宅の建設、公費解体等々の迅速な推進、その時々によりわたり町民の皆様の被災生活の安定に向けて、行政と一緒に対応してまいりました。

一日も早い復旧復興のために、皆様のご意見を拝聴しながら、国・県に向かって宝達志水町の現状を訴え、町民の皆様に少しでもお役にたてるよう全力で傾注してまいる所存でございます。

今後とも、町議会に対しまして、一層のご指導とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が町民の皆様にとりまして希望の復旧復興の一年となり、普段の生活を取り戻されることを心より御祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

令和6年第4回定例会 (12月定例議会)



塚本議員が不起訴処分に

金沢地方検察庁は、所司原中山間地管理組合の交付金問題について、業務上横領、有印私文書偽造等の疑いで告訴されていた、塚本勇仁議員（と妻）に対し、令和6年3月29日に不起訴処分としました。

令和6年第4回町議会定例会が、12月5日から13日まで開催され、令和6年度補正予算関係7件、指定管理関係3件、契約関係2件について可決されました。

また、監査委員に本島 学 氏（荻島）が選任されました。任期は、令和7年2月26日から4年間。

令和6年度 補正予算の主な内容

所管課	事業名	概要	補正額
商工観光課	ふるさと納税推進事業費	ふるさと納税の寄附金が、当初の想定より増加が見込まれることから、事業に必要な経費を追加する。	2億9,855万円
企画情報課	宝の住まいる応援事業費	マイホーム取得奨励金の申請件数が、増加しているため追加する。	2,660万円
総務課	地域コミュニティ施設等再建支援事業費	令和6年能登半島地震により、被災した神社等の再建に要する経費を支援する。	1,000万円
子育て応援室	予防接種事業費	子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種（無料接種）最終年度のため追加する。	922万円
農林水産課	農業施設災害復旧費	令和6年能登半島地震に伴う被害対応の経費を追加する。	7,103万円
地域整備課	宅地復旧支援事業費	宅地復旧支援事業の申請件数が、増加しているため追加する。	4,790万円
学校教育課	その他施設災害復旧費（学校施設）	令和6年能登半島地震による宝達中学校テニスコート人工芝陥没補修に必要な経費を追加する。	3,681万円

令和6年第3回臨時会（11月26日）

令和6年第3回臨時会が11月26日に開催され、令和6年度補正予算5件、条例及び追認の5件が可決され、令和6年度専決補正予算1件が承認されました。

議員別賛否の状況（賛否が分かれた議案等のみ）

議案名 (11月26日第3回臨時会)	結果	松本由理子	西塔正樹	松井世己子	岩根信水	勝二正人	松浦文治	林稔	塚本勇仁	久保喜六	守田幸則	北本俊一	北信幸
議案第78号 宝達志水町議会の議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	×	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第79号 宝達志水町常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	×	○	○	○	-	○	○	○	○	○
議案第80号 宝達志水町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	×	○	○	○	-	○	○	○	○	○

○は賛成、×は反対、△は退場、欠は欠席を表しています。なお、議長は、議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長裁決」として表明します。（「裁」と記載）

町政を問う



今回からQRコードを読み取ると一般質問の様子が見れるよ。議員さんの生の声をぜひ聞いてみて。

議員7名が一般質問

一般質問とは、議員が町政全般にわたって、町長などの執行機関に対して事務の執行状況や将来の方針などについて質問し、説明・報告を求めるものです。

※ QRコードを読み取ると、Youtubeで配信されている各議員毎の一般質問をご覧になることが出来ます。

ページ



■ <small>きた</small> 北 <small>のぶゆき</small> 信幸 議員	5
・今までとこれからの町づくりへの取組みを伺う		



■ <small>しょうじ</small> 勝二 <small>まさと</small> 正人 議員	6
・来年3月の町長選挙への町長の考えは		
・土木工事の集落負担金を廃止できないか		
・空き家解体の推進について		



■ <small>まつい</small> 松井 <small>せきこ</small> 世己子 議員	7
・被災住宅の復旧状況は		
・「防災道の駅」の考えは		
・女性議員のフオーター制の導入について		



■ <small>さいとう</small> 西塔 <small>まさき</small> 正樹 議員	8
・古墳の湯の再考を		
・柳瀬地区の道路整備を		



■ <small>くぼ</small> 久保 <small>きろく</small> 喜六 議員	9
・第2次宝達志水町総合計画について		



■ <small>まつもと</small> 松本 <small>ゆりこ</small> 由理子 議員	10
・ふるさと納税について		
・第2次宝達志水町総合計画と第2期宝達志水町人口ビジョン、まち、ひと、しごと創生総合戦略への方針は		



■ <small>まつうら</small> 松浦 <small>ぶんじ</small> 文治 議員	11
・消防水利の設置、管理状況はどうか		
・移動式トイレ、キッチンカーを防災備蓄品に		

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



北 信 幸 議員

今までとこれからの町づくりへの取組みを伺う

引き続き様々な問題に取り組む

北 議員 今までの取組みの中で、小学校の統合が平成30年、31年で終わっていたはずのもの、やっと来年度統合となる。その間の6年間にどれだけ予算を投入されたのか。そして、北大海第一保育所は、2億円もかけて改修。耐震をするなら、

① 令和6年度で7名の退職者がいた。今までこれだけの人数の退職はないと記憶するが、なぜこれだけの退職者が出たのか、感じることを答弁いただきたい。

② 令和6年元日の地震を受け、県、国に何度、どの部署にどういうことで陳情に行ったかを教えてください。

③ 合併20周年のイベントをするつもりだが、そろそろ分庁した町役場ではなくて、新庁舎建設の考えはないか。

④ 8年前から押水球場が使えない。スコアボードがさびついて、いつ落ちるかわからない。この危険な野球場をどう考えているか。

⑤ 企業誘致と宅地造成について、ここ8年間企業誘致なし、宅地造成もない。しっかりと取り組んでいるのか。

⑥ 漫画図書館は、一日数人の利用と聞くが、当施設に行政がいくら費やしたことかと考える。ここまでの答弁は要らないが、次からのことに答弁をお願いする。

⑦ 企業誘致と宅地造成について、ここ8年間企業誘致なし、宅地造成もない。しっかりと取り組んでいるのか。

⑧ まだ先のことと思っているが、役場の建て替えは、なによりも安全な場所を選んで検討していきたいと考えている。



⑨ 11月以降は行ったが、10月以前において、町単独で要望書を持って、どこかへ伺ったということはない。

再質問 北議員

1月から10月までは、町単独では陳情要望に行っていないということでしょうか。

北 議員 11月以降は行ったが、10月以前において、町単独で要望書を持って、どこかへ伺ったということはない。



勝二 正人 議員

来年3月の町長選挙への町長の考えは

未来に希望抱ける町づくりへ前進するため立候補する

問 勝二議員

寶達町政もあと3か月で任期満了を迎える。振り返れば、任期中は、コロナウィルス対策、小学校統廃合、当町の重要な課題である人口減少化対策、少子化対策、高齢化社会への対応など課題が頻出した。これらの進めなければならぬ政策について、達成できたもの、継続し

ていくもの、手つかずのものがあると思う。令和6年元旦に発生した能登半島地震もこれからである。多くの課題はあるが、3期目の出馬についての考えを伺う。

答 寶達町長

能登地震の被災者支援と復興を最優先に、また、生活・住宅再建支援、インフラや被災施設の早期復旧など、着実に進める。そして、若い世代から高齢者にも安全で住みやすい町づくりを進めたい。町民と共に、未来に希望を抱ける町づくりをさらに前進させるため、来年の町長選挙に立候補する。



土木工事の集落負担金を廃止できないか

集落の負担実態を精査する

問 勝二議員

集落要望による各種土木工事は、安全な町づくりにつながる取組みであるが、一方で人口減少や高齢化で、集落負担が重荷となっていると思う。町における負担金の徴収実績額はいくらか。負担金が重荷となって、適切な事業が実施できないければ、地域の安全確保の支障となりかねない。負担金の廃止を考えられないか。

答 安達財政課長

土木関係の負担金徴収額は、令和元年は2集落から52万2千円、令和2年度は4集落から52万1千円、令和3年度は13集落から59万8千3百円、令和4年度は11集落から

459万円、令和5年度は12集落から65万2千3百円である。

今後の町税収入の減少やインフラ施設の老朽化対応が見込まれ、財政運営は厳しい。

一方で、人口減少や高齢化を踏まえると、負担金が地域の安全確保や事業の適切な実施に支障をきたす可能性がある。こうした状況から、集

落負担金は、財政状況や各集落の負担実態を慎重に精査し、負担の軽減や見直しを含めた対応を前向きに検討していく。



◇その他の質問◇

○空き家解体の推進について

問 特定空家に至らない空き家についても、解体を促進するために助成制度を拡充してはどうか。

答 特定空家に至らないものの、管理不十分な空き家も、将来的に地域安全や景観に悪影響を及ぼす可能性があり、こうした課題への対応も重要と考える。

特定空家以外の空き家についても、解体を促進するための助成制度の拡充に関して、前向きに検討していきたい。

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



松井 世己子 議員

被災住宅の復旧状況は

1日も早く安心して暮らせるよう 取り組んでいく

答 金田総務課長 兼復興推進室長

柳瀬地区の復旧については、用地買収や測量設計業務の契約に着手し、柳瀬会館は令和7年度中の完成を、また、宅地は令和7年度中の提供をめざしている。

半壊以上の被害で自力再建が困難な世帯向けの応急仮設住宅は、石川県から12月9日に引き渡しを受ける予定である。

答 山本健康福祉課長 被害の程度に応じ、被災者生活再建支援金や義援金の給付を行っている。

問 松井議員 柳瀬地区の復旧は進んでいるか。ブルーシートが屋根にかかっている家を見かける。寒い冬に大丈夫か。地盤が下がった所の復旧は進んでいるか。

答 寶達町長 被災者のみなさんが一日も早く安心して暮らせる環境を取り戻せるよう、引き続き取り組んでいく。

は、年度内の発注を予定している。

ただし、県内他市町でも同様な工事が進む中、請負業者不足が懸念され、すべての復旧完了に3年程度要する見込みである。

答 藤井危機管理監 兼環境安全課長

令和6年11月末時点での住家被害は、全壊12棟、半壊以上全壊未満78棟、一部損壊以上半壊未満1,742棟。非住家被害は、全壊と半壊以上

で142棟。解体受け付けは、公費解体と自費解体合わせ、187棟。現時点で51棟が解体済みである。

再質問 松井議員

宝達高校裏の今浜新道と墓地公園横の地盤が下がった所は大丈夫か。

答 寶達町長

特定の地点のことは、個人的な話になるので、答弁は控えさせていただきます。

「防災道の駅」の考えは

前向きに検討する

問 松井議員

防災装備を兼ねた道の駅があれば、防災拠点になるし、にぎわいもでき、安心安全な住みよい町になると思うが、いかがか。

答 寶達町長

道の駅の整備については、今後も地域活性化や防災機能強化を念頭に、慎重に、前向きに検討していく。



◆その他の質問◆

○女性議員のフオーター制の導入について

問 女性議員のフオーター制導入になれば、女性の意見が入りやすくなり、住みよい町づくりに貢献できると思うがどうか。

答 我が国においてフオーター制を導入するには、憲法が保障する平等選挙の原則や公職選挙法の枠組み等との整合性を図る必要がある、慎重な議論が必要と考える。町としては、女性の社会参加の推進に引き続き努めていく。



西塔 正樹 議員

古墳の湯の再考を

施設の老朽化で、やむを得ず閉館

問 西塔議員

古墳の湯は、多くの人が利用しているのに、やめるのは不自然。また、

町民の憩いの場を失うのは、多大な損失との声が多く寄せられている。

まだまだ経緯の説明が足りない。今後のビジョンも明確でない。

そこで、町長に古墳の湯の閉館を、ぜひ考え直していただけないか、町長の考えを聞きたい。

答 寶達町長

これまでも設備の故障があった中、修繕をして運営してきたが、温泉の源泉井戸に修復不可能な欠陥が見つかり、存続には新たな源泉井戸の掘削や設備改修工事など、多額の追加投資が必要と

なることから、令和7年3月31日をもって閉館することにした。

現在、源泉井戸のメインポンプは修繕できず、補助的にミニポンプで汲み上げている。開館当初、深度約1,300メートルで43・1度だった源泉は、現在、深度約800メートルにおいて27・1度と低下し、加温するため燃油量がかさんでいる。

存続には、新規の源泉井戸の掘削費、約1億5,000万円、工期に2年かかる。また、設備改修工事に約1億1,000万円かかり、総額2億6,000万円のかかることとなり、物価上昇の影響も考慮すると、さらに経費増加が見込まれる。

古墳の湯は、良質な温

泉と美しい眺望で利用者から親しまれてきた。私たちにも閉館を惜しむ声は届いている。町としても同じ思いで、大変残念に感じるが、施設の老朽化を考慮し、やむを得ず閉館とした。

再質問 西塔議員

古墳の湯を閉館すると発表以来、町長は直に利用者の意見を聞いたか。それを聞いて何も感じなかったか。

答 寶達町長

いろんな意見を聞いています。手を尽くしてきたが現在においては大変難しいことを理解いただきたい。



柳瀬地区の道路整備を

2車線道路と歩道を確保する

答 杉谷地域整備課長

柳瀬区をはじめ、地震の影響で路面状態が悪化している地域においては、請負業者に事前にパトロールで除雪作業に支障をきたす障害物の確認などしてほしいとお願いした。除雪作業が安全で円滑に進むよう、国、県、関係機関との連携をとる。

次に、集会所や宅地造成周辺の道路は、すでに2車線、そして歩道が確保されている。現時点での追加の道路改良計画はないが、今後の利用状況や住民からの意見を踏まえ、必要に応じて対応していく考えである。

問 西塔議員

柳瀬地区は、これからの冬の除雪作業に困難が予想される。対策は万全か。

今後、集会所や宅地造成周辺の道路幅拡充の考えはあるか。

答 寶達町長

町として、安全確保のために、必要な整備に努めていく。



一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



久保 喜六 議員

第2次宝達志水町総合計画について

アンケート回答に沿って、
応急仮設住宅、宅地造成に着手を進める

固 久保議員
寶達町長に第2次宝達志水町総合計画について質問する。ここで掲げた政策について一部未達成であるとの指摘がある。総合計画は、令和2年度から令和11年度までの10年の計画で、今年度、令和6年度は、ちょうど折り返しの年で、見直し

を実施する年度とある。そこで、これらを踏まえて、今までの5年間の進捗状況、引き続き町政を担う今後の具体的な抱負を伺う。
特に、宝の土地活用推進事業、宝のなぎさ交流事業、民間賃貸建設補助事業、宅地造成事業は審議会の意見書でも過去5年間実績がないため見直しが必要という意見がある。このことも、答弁願う。

1つめの柱「町の宝を育てる」では、学校教育や子育て支援の分野で成果を上げている。教育分野では、学習意欲の向上を目的とした施策により、中間目標をほぼ達成。子育て支援では、ほっぴーパークを整備し、令和6年10月からの保育料、給食費の完全無償化実施。
2つめの柱「町の良さを伸ばす」では、定住促進に関して、定住促進協議会と連携し移住希望者

3つめの「町の礎を次代につなげる」では、農業産出額や企業創業バツクアップ事業が成果を上げている。しかし、観光分野では、宿泊者数の増加が課題。イベントを通じての関係人口、交流人口の拡大を図りながら改善に努める。また、防災・減災体制の充実、防災指数の増加や自主防災組織の拡充が進んでいる。引き続き町民が安心して暮らせる環境整備を進める。計画の中間見直しには、

町民から望まれていること、期待されていること、それをできなかったものはいくつもあるが、何もしていないということはないと分かっていた。実績があるもの、ないものがあるが、そういった状況を踏まえ、今後の取り組みをしていく。
宅地造成、企業用地の活用について、来年度の予算編成に向け検討しており、固まり次第、報告させていたただく。

答 寶達町長
町民アンケートを実施し、その結果を分析したうえで後期計画に反映させる予定である。

再質問 久保議員
町長の答弁は、「いいフレーズのスローガン」のように聞こえる。この計画における町長、また執行部との自己評価と第三者から見た評価の違いがあるのを町長はどう捉えているか。

答 寶達町長
町長になって8年間、実績も上がっていないものを、これから次4年間でどう取り組んでいくのか、具体的に考えなければ聞かせていただきたい。

町民アンケートを実施し、その結果を分析したうえで後期計画に反映させる予定である。



松本 由理子 議員

ふるさと納税について

町の未来につなげる事業に効果的に活用したい

問 松本議員

①今年度の最新の納税見込額と、その使い道の希望割合は。

②令和5年度の「町長におまかせ」とされた3億2,011万1,102円、全体の20・6%は、どんな事業に使ったか。また、その事業の金額はいくらか。

③当町の流出金額は。

④今後のふるさと納税の積極的取り組みについて、町長に問う。

答 寶達町長

①最新のふるさと納税の寄付額は、令和6年度ふるさと納税、11月末時点で、10億6,000万円に達し、使い道の希望割

合は、10月末時点のデー

タで、町長におまかせが35%、教育、子育ての充

実が28%、環境保全、防

災の充実が10%。これら

が上位の3項目。

②令和5年度のふるさと

納税総額は、11億6,0

00万円余り。そのうち、

町長におまかせの額は、

④今後、商工会や地元事業者と連携し、地域特産品を活用した新たな返礼品を開発、また、寄付の受付窓口となるポータルサイトを増やし、利用しやすい環境を整備していく。

答 村上税務住民課長

③本町のふるさと納税による流出額は、約1,100万円と推計し、令和5年度の町全体税収の約0・6%にあたる。

再質問 松本議員

安全な町にしたいという漠然とした回答でなく、感情的でもないのので、寶達町長の思いを聞きたい。

答 寶達町長

安全な町というのは、大変漠然とした表現であるが、ここにいろいろな事業を積み重ねてきた。いろいろな事業を通しての姿勢をも評価いただけるように務めていきたい。

第2次宝達志水町総合計画と第2期宝達志水町人口ビジョン、まち、ひと、しごと創生総合戦略への方針は

町民の声を取り入れ 地域全体でまちづくりを進める

役世代や子育て世代のニーズや思いを捉えていくのか。

答 寶達町長

①本年度は第2次総合計画の中間見直しの年で、前期5年間の状況と課題を総括し、後期計画に反映するため準備を進めている。具体的には、総合計画策定時に実施した町民アンケート調査に新たな質問を加え意見を取り、5年前の調査と比較し分析している。このデータを基に、施策の達成状況を評価し、今後の方向性を検討する。

問 松本議員

①第2次総合計画の政策・施策指標の達成状況について、どのような方法で分析や総括を行い、第3期総合戦略に活かしていくのか。

②どのような方法で、現

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)



松浦 文治 議員

消防水利の設置、
管理状況はどうか

毎年、点検、清掃、
必要に応じ修繕している

問 松浦議員

①本町の消防水利の設置、
管理状況はどうか。防火
水槽の撤去がみられるが、
消防栓、防火水槽はバラ
ンス良く配置され、防火
水槽は足りているか。

域の安全・安心を支える
重要な取り組みである。
火災時の対応、効果的な
対策を検討していく。

答 藤井危機管理監
兼環境安全課長

②地震で県水が止まり、
町はどのような消防体制
や対策を進めたか。

①本町では、消防水利と
して、11月末時点で、消
火栓631基、防火水槽
135基を設置。これら
は毎年、宝達志水消防署
や消防団が点検、清掃し
ている。必要に応じ、町
が修繕をしている。防火
水槽が無い集落は、河川
やため池、学校プールや
近隣集落の防火水槽から
遠距離中継送水する体制
を整えている。

③町の水道施設の改修が
進められているが、水道
管更新の状況と今後の見
通しはどうか。

③本町の水道管延長は、
約187メートルで、基
幹管路の耐震化率は、約
32%、その他の配水管の
耐震化率は、約7.8%。
計画では、令和11年度か
ら老朽管更新の実施設計
を開始し、令和13年度か
ら耐震化を進める予定で
ある。

④消防栓が使えない時の
防火訓練を行う必要があ
るのではないか。

災害時に設置する避難
所の生活に起因する災害
関連死を防ぐため、環境
改善に向けた清潔な移動
式トイレやキッチンカー
等の防災備蓄品導入が必
要だと思うが、本町も導
入計画を進めてはどうか。
避難所の環境改善に向
けた対応策はあるか。

答 寶達町長

消防水利や水道施設の
整備、またトイレカーや
キッチンカーの導入を含
めた避難所の改善は、地

②令和6年能登半島地震
では最大4、200世帯
が断水し、1月8日まで

問 杉谷地域整備課長

消防栓が使用できない状
態だった。その間、消防
署や消防団と連携し、巡
回広報で住民に火災予防
を呼びかけた。また、消
防署では、防火水槽の緊
急点検、補水、自然水位
の確認を実施している。

移動式トイレ、
キッチンカーを防災備蓄品に

導入には多角的な検討必要

答 藤井危機管理監
兼環境安全課長

トイレカーやキッチン
カーは災害時の避難所環
境改善や迅速な応急対策
に大きな効果を発揮する。
しかし、導入にあたり、
実際の使用方法や維持管
理の問題、他地域との相
互応援などの多角的な検
討が必要と考える。

本町では、避難所の生
活環境改善を目的に、食
糧、水、医薬品、女性用
品、子ども用品、携帯ト
イレなどの生活関連物資
を備蓄。さらに、岐阜県
下呂市や富山県水見市と
の災害時相互応援協定を
活用し、備蓄品情報を平
時から共有している。災
害時の迅速な応援要請と
物資供給が可能な体制を
整えている。今後も必要
な備蓄品を計画的に整備
していく。



会期中の
常任委員会等審議

病院運営特別委員会

(12月6日)

○今年度収支見込みについて

問 令和6年度病院事業会計収支見込みは。

(西塔議員)

答 昨年度より入院、外来患者ともに増えている。一方で人件費や物価高騰の影響で費用も増えている。今後の患者数にもよるが、見込みでは、昨年より大幅に減ることはないと思う。

○入院、外来が増えた要因について

問 今年度、入院、外来が増えた要因はなにか。

(守田議員)

答 明確にはわからないが、病院連携の強化を図っていることや今年度からソ

ーシャルワーカーを1名から2名にして対応したことも要因と考える。

○奨学金利用について

問 看護師の奨学金制度利用者はいるか。(守田議員)

答 奨学金制度はあるが、現在は利用しなくても正規職員として看護師を募集すれば応募者が来る状況である。

○敷地内亀裂の修繕について

問 震災の影響で病院の駐車場など敷地内に亀裂や段差などあるが、どのように修繕していくのか。

(塚本議員)

答 現在は仮復旧の状況で、本復旧は、病院駐車場の周りにある町道の災害復旧工事に併せて実施する予定である。

問 病院に来られる方は、車椅子など利用して来られるため、駐車場の危険か所は、速やかに修繕して

ほしい。(守田議員)

答 できる限り、早急に対応したい。

○マイナンバーカード利用対応について

問 お年寄りにもわかりやすく、マイナンバーカード利用を教えてあげてほしい。(松井議員)

答 初めてされる人、高齢者、耳が不自由な人に、丁寧な説明を心がけている。

病院運営特別委員会

出欠状況

松浦	委員長	○
松本	副委員長	○
守田	委員	○
塚本	委員	○
松井	委員	○
西塔	委員	○
林	議長	○

※「○」は出席、「×」は欠席

教育厚生常任委員会

(12月9日)

○子宮頸がんワクチンについて

問 余分に予算はとれないか。(松井議員)

答 予防接種の予算は、実績にあわせて予算を計上している。

○小学校のエアコン使用について

問 小学校管理費光熱水費増額に関して、今年は例年より暑い日が長く続いたが、気温が何度になったらエアコンをつけるのか。(久保議員)

答 エアコンの温度設定について、町教育委員会から細かな指示はしていない。学校には、児童生徒の安心・安全という視点で、気温や湿度をみて使用するよう指示している。

○廃校の備品について

問 廃校になる小学校の備品、トロフィーや優勝旗はど

うするのか。(久保議員)

答 備品は、令和7年4月以降、財政課所管となる。トロフィーや優勝旗などは、写真を撮って残すことにしている。対象となる備品は非常にたくさんあるため、記録に残した後、処分する予定である。

○中央保育所の増築工事について

問 保育所の増築工事に、2回の不落があった。再度入札するにあたり、対策はあるか。(久保議員)

答 積算内容を再度検討、また協議し、新たに入札をしたいと考えている。時期、積算について、もう少ししばらく時間をいただきたい。

○放課後クラブについて

問 放課後児童クラブは、来年度どのような体制になるのか。(守田議員)

答 今、子どもの家を運営していた聖ヨハネ会に委託しているが、令和7年

度からは町が直営で行う。

○スクールバス待合所について

ついで

問 スクールバス待合所の出浜地区内での移転についての理由は。(守田議員)

答 現在、某事務所敷地内の一角を承諾して使用させてもらっている。しかし、

来年4月から小学生も利用することから、出浜区長、保護者から、より安全な所への移動要望があり、新設することとなった。3月末まで使用し、4月以降に撤去する方針である。

○福祉バスの利用について

県民スポーツ大会への支援として、大会出場のため、福祉バスを利用できるようにしてほしい。

(守田議員)

答 利用に関して、関係課で協議させる。

教育厚生常任委員会

出欠状況

勝二	委員長	○
久保	副委員長	○
北本	委員	○
守田	委員	○
塚本	委員	○
松井	委員	○
林	議長	○

※「○」は出席、「×」は欠席

総務産業建設常任委員会

(12月11日)

○地域コミュニティ施設等

○地域コミュニケーション施設等

再建支援事業費は、神社などでの部分まで対象か。(西塔議員)

答 本体、躯体、外構、設計など、境内の敷地すべてが該当する。

○海岸環境整備の年間の流れについて

○海岸環境整備の年間の流れを教えてください。

(西塔議員)

答 海岸環境保全対策事業は、年間を通して実施している。今回の減額は、7月7日に実施予定であった「クリーンビーチ」が中止となったため、減額する。年間を通じ、海岸漂着物の除去等行っている。

望している。

○今浜海岸入口のゴミ処理対応について

問 今浜海岸出口に、ゴミがある。対応できないか。(松浦議員)

答 現状を確認し、どのように対応できるか検討したい。

○旧ムラケン跡地について

問 旧ムラケン跡地の今後の利活用は。(松浦議員)

答 イベント時の駐車場として利用する想定である。

問 将来宅地として利用はな

いか。(松浦議員)

答 考えていない。

問 他に宅地造成候補地の場所はあるか。(松浦議員)

答 安全で便利な場所を考えるといきたい。

総務産業建設常任委員会

出欠状況

岩根	委員長	○
松浦	副委員長	○
北	委員	○
林	委員	○
西塔	委員	○
松本	委員	○

※「○」は出席、「×」は欠席

各委員会からの付帯意見

総務産業建設常任委員会

- (1)町民の安全安心のため、防災対策を点検し、継続的な見直しを図りたい。
- (2)若者定住施策を積極的に推進されたい。

教育厚生常任委員会

- (1)指定管理者に対して、利用者の意見を十分に取り入れ、適正に管理されたい。
- (2)放課後児童クラブについては、町直営への移行をスムーズに運営されたい。
- (3)保育所改修工事について、すみやかに園児の環境が整えられるよう工事をすすめられたい。

※付帯意見とは、議案を議決するにあたって、議会の希望意見として付すもの。法律的な効果ではなく、政治的に尊重されるべきものとされる。

常任委員会合同視察報告 (10月28日～30日)

福岡県うきは市防災道の駅と 北九州エコタウンを視察

10月28日、災害復興計画の取り組みや防災方法を学ぶため、福岡県うきは市にある「防災道の駅」を視察した。

平成12年に「道の駅うきは」が開業。平成24年、平成29年と九州北部豪雨災害発生。平成29年は、この道の駅が朝倉市に向かうボランティア団体の野営地となった。令和2年に、防災道の駅配置計画案が出て、令和3年「防災道の駅」と選定され、大災害時自衛隊や警察などの救援・復旧・復興活動の拠点や、緊急支援物資の集積地として活用されることとなった。6,300㎡の広場、防災倉庫、貯水タンク、停電に備えた非常用発電施設、約5,700㎡の駐車場がある。29日には、北九州エコタウンを視察。エコタウンでは、産業から出る廃棄物を新たに他の分野の原料として活用し、廃棄物ゼロを目指している。自動車のリサイクルでは、細かく素材ごとに処理されていた。



▲うきは市防災道の駅の構内にあるベンチは、非常時、かまどとして利用できる。



▲北九州エコタウンの自動車リサイクル事業では、部品や素材を再使用・再利用する。

令和7年 第1回定例会本会議の日程

〔開会〕2月27日(木) 午前10時 〔再開〕3月7日(金) 午後2時

◎傍聴のご案内

議会では、予算や条例をはじめ、町のさまざまな案件を議論し、採決が行われます。傍聴は、町議会の活動にふれることのできる身近な方法ですので、ぜひお越しください。

■受付 会議当日、午前8時30分から議会事務局(庁舎3階)で受付いたします。

■手続 傍聴受付票にご自分の住所、氏名、年齢を記入し、傍聴券の交付を受け傍聴席へお入りください。

◎町議会のトップページより議会本会議の生中継をインターネット (YouTube) で見られますのでご覧ください。

(※本会議当日は1階正面玄関税務住民課側の町民サロンのテレビでもご視聴いただけます。)

●議会だよりへのご意見、ご感想がありましたら、
電話、FAX、Eメールなどでお寄せください。

広報編集特別委員会 (1月8日・15日)

委員長 勝二 正人
副委員長 西塔 正樹
委員 久保 喜六
委員 松浦 文治
委員 岩根 信水

令和7年2月1日 発行

■発行 宝達志水町議会

責任者/議長 林 稔

〒929-1492 石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1

TEL(0767)29-8310 (直通) / FAX(0767)29-4623

Eメール gikai@town.hodatsushimizu.lg.jp

■編集責任者/勝二 正人



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA: 環境保護印刷推進協議会

この広報は高精細340線で印刷したものです。